

だい ぶ かだい
第5部 課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご持参ください。

だい かい
第16回

まいにち にゅうりよく
毎日パソコン入力コンクール

とう き たいかい
冬季大会

か だい
【課題】

だい ぶ わぶん しょうがくせいとい ちゅうがくねん
第5部 和文A 小学生低・中学年

ことわざ・慣用句①

せいげんじかん ぶん
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう
【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

さんこうぶんけん しょうがくかん かんようく じてん もじすう じていど
※参考文献：小学館 慣用句びっくりことば事典（文字数1,450字程度）

かだいぶんしょう きんそくもじ
〈課題文章の禁則文字について〉

まいにち にゅうりよく
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい
るため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど
おりに入力すると正解になります。

しゅさい
主催

まいにちしんぶんしゃ
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん にほん のうりよくけんていいいんかい
一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

こうえん
後援


そうむしょう
総務省


もんぶかがくしょう
文部科学省


こうせいろうどうしょう
厚生労働省


けいざいさんぎょうしょう
経済産業省ほか


ぎょう じづめ ぶんしょう にゅうりょく
1行28字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。


た とり
立つ鳥あとをにごさず 


てんさいはわすれたころにやってくる 


そなえあればうれいなし 


やまい き
病は気から 


るいはとも
友をよぶ 


かえるの子はかえる 


まな いた
板のこい 


えびでたいをつる 


のこりものには ふく福がある 


はな
花よりだんご 


うま みみ
馬の耳にねんぶつ 


おににかなぼう 


きつねとたぬき 

さるも き木からおちる 


目は くち口ほどにものを い言う 


ねこに こ小ばん 


ゆだんたいてき 


あたま
頭かくしてしりかくさず 

こいのたきのぼり 


ぬかにくぎ 


れきしは かえくり返す 


した
親しきなかにもれいぎあり 


にがした さかな おお魚は大きい 

ふくろのねずみ 


わらう かど門には ふく き福来たる 


ちりもつもれば やま山となる 


へそで ちゃ茶をわかす 

つるの ひとこえ一声 

せいてはことをしそんじる 

すずめのなみだ 

いし うえ石の上にも さんねん三年 

わかし
昔とったきねづか 

くさいものにふたをする

ひと人のふり見てわがふり直せ

ほねおりぞんのくたびれもうけ

けんえんのなか

とんびにあぶらあげをさらわれる

ろくじゅう六十の手習い

らいねん来年のことを言えばおにがわらう

ももくり三年かき八年

み身から出たさび

りょうやくは口にながし

よいっぱりの朝ねぼう

なきつつらにはち

↓

おねをなでおろす

しんばい心配ごとがなくなり、ほっとする。一安心する。

せいせきが心配したほど下がっていなかったので、おねをなでおろした。

↓

せわをやく

すすんで人のめんどろをみる。力をかす。

とも友だちのいもうとのせわをやく。

↓

あたま頭に入れる

よくりかいして、しっかりとおぼえておく。

ちゅういじこうをしっかりと頭に入れて、遠足に出かけよう。

↓

おお大手をふる

りょうて両手をふって、いばって歩く。だれにもえんりよせずのもの

ごとを行うようす。

すいえいたいかい水泳大会でゆうしょうしたかれは、まいあさおお毎朝大手をふってとうこう登校し

ている。

↓

はな花をもたせる

わざとまけてやったり、手がらをあい手にゆずってやったりする。☞

ゲームで、いつもぼくがまけているものだから、今日は姉がぼくに花をもたせてくれたようだ。☞

☞
手とり足とり☞

たいへんていねいに教えること。☞
親せきの大学生に手とり足とりべんきょうを教えてもらった。☞

☞

おねがすく☞

気にかかっていたことがなくなる。☞
わるものをつぎからつぎへとやっつける、しゅじんこうのおねがすくようなかつやくにみんなよろこんだ。☞

☞

いばらの道☞

とげのあるいばらの生えている道のように、くるしみやこんなんの多い人間の一生のたとえ。☞
そばは長いいばらの道をのりこえて、自分でこうふくをつかんだ。☞

☞

ずにあたる☞

計画や予想が思ったとおりになる。☞
新しいお店の計画が、ずにあたって大せいこうをおさめた。☞

☞

こしが強い☞

がまん強くねばり強い。すぐに負けたり、よわねをはいたりしない。☞
かれはこしが強いから、こんどの研究も成功するにちがいない。☞

☞

気をくばる☞

手落ちがないよう、いろいろなことに注意する。☞

おばさんは、いろいろと氣きをくばって、わたしたちをおかえてくれた。☞

☞

たいこばんをおす☞

ぜったいにだいじょうぶだとせきにんをもつ。☞

かれの絵えは、てんらん会かいでにゅうせんすると、先生せんせいがたいこばんをおした。☞

☞

目めを通とおす☞

書き物かきものなど一通りひととおざっと見る。☞

父ちちはしゅっきん前まえ、かならず新聞しんぶんに目めを通とおす。☞

☞

いもを洗あらうよう☞

大勢おおぜいの人ひとが集あつまって、とてもこんざつしているようす。☞

日曜にちようの遊園地ゆうえんちのプールは、まるでいもを洗あらうようなこんざつだ。☞

☞

馬力ばりきをかける☞

いちだんとがんばってしごとをする。☞

そつぎょうせいさくのレリーフは、もうすぐかんせいなので、さらに馬力ばりきをかけよう。☞

☞

足あしがぼうになる☞

歩あるいたり、立たったりしつづけていたので、足あしがひどくつかれる。☞

さんぼずきの父ちちについていったら、足あしがぼうになってしまった。☞

☞

のどから手てが出る☞

とてもほしくてたまらないきもち。☞

お金かねがたまったので、のどから手てが出るほどほしかったゲームかを買かおう。